2025年

たびするムサビプロジェクト

ちごゆりの会との交流

８月２０日（水）、武蔵野美術大学の学生４名とちごゆりの会の８名の方々で「食を介した交流」を目的に、住民交流会を行いました。

午前中はちごゆりの会の方々と学生が一緒にカレーや餃子などを調理し、食卓を囲んで親睦を深めました。

午後は「好きな夏野菜」を題材に絵はがきの制作を行いました。会話も弾み、和やかな雰囲気の中で個性豊かな作品が生まれました。

和紙の子児童クラブの子どもたちとの交流

８月２１日（木）・２２日（金）の２日間にわたり、「まほうつかいになろう！」をテーマにワークショップを実施しました。子どもたちは絵の具で彩ったビニール袋を用いたマントや画用紙を装飾した帽子、プラカップや割り箸、ビーズや毛糸などを組み合わせたステッキやハンマーの制作を行いました。

２日目にはグループごとにチーム名や使える魔法の設定、決めポーズを話し合い、完成した衣装を披露するファッションショーを実施。参加した子どもたちは思い思いの魔法使いとなり、笑顔あふれるひとときを過ごしました。

和紙の里ワークショップ

８月２４日（日）には、道の駅和紙の里ひがしちちぶにてワークショップを開催しました。

参加者はちぎった和紙やビーズ、セロハンなどを組み合わせてオリジナルの万華鏡を制作し、外装も和紙で装飾して華やかに仕上げました。キーホルダーも同様に型紙に和紙をちぎり絵のように貼りつけて装飾し、世界に一つだけの作品に。当日は子どもから大人まで多くの方にご参加いただき、会場は終始賑やかな雰囲気に包まれていました。

来年の開催にもご期待ください。